

Allbirds 2023 Sustainability Report



2023年
サステナビリティレポート

allbirds



オールバーズについて知ってもらい、 ワクワクしてもらうためのレポートです (飽きさせないと信じてます...)

オールバーズの2023年版サステナビリティレポートへようこそ。
こちらのレポートでは、2023年におけるサステナビリティ戦略の
進捗状況について報告します。

オールバーズは2023年も、2つの目標に邁進しました。

1つ目は「製品毎のカーボンフットプリント*を2025年までに半減させること」、

2つ目は「2030年までにカーボンフットプリントをほぼゼロにすること」です。

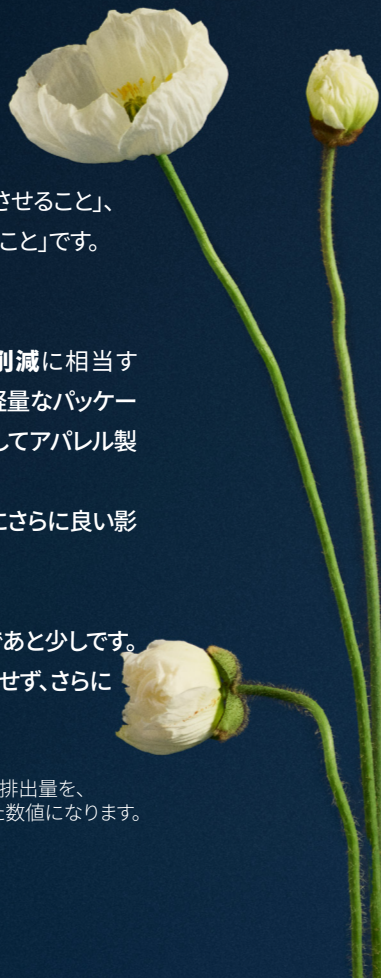
結果は、とってもいい感じ！

2023年に製品毎のカーボンフットプリントを前年比**22%削減**に相当する、**1.58kg CO₂e削減**しました。大きく進展できた理由は、より軽量のパッケージングの開発(▲7%)、再生可能エネルギーの活用(▲2%)、そしてアパレル製品の生産量を減らしたこと(▲13%)です。

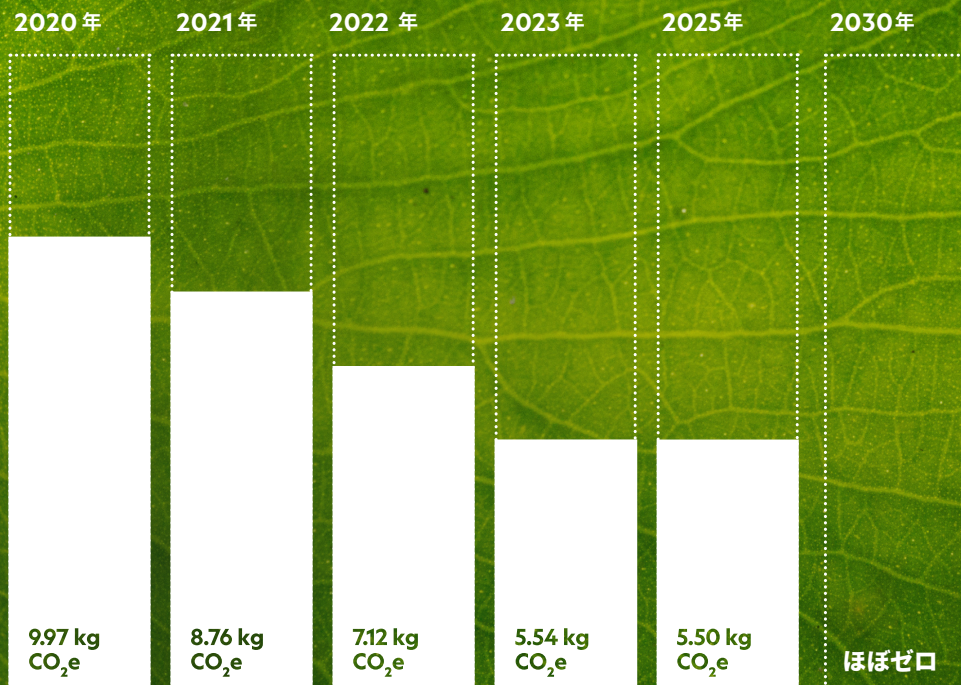
今後はフットウェアの展開に注力し、サステナビリティ戦略全体にさらに良い影響を与えていく予定です。

目標を掲げてから3年が経ち、2025年という一つのゴールまであと少しです。現時点で予測を大きく上回る成果を上げていますが、ここで満足せず、さらにカーボンフットプリント削減に向けて取り組み続けます。

*製品の素材調達・製造・廃棄に至るライフサイクル全体で排出されるGHGの排出量を、CO₂ 排出量に換算した数値。CO₂の年間総量を、同年度の総生産量で割った数値になります。



チャートで 分かりやすく



これらの数値は事業運営に関するカーボンフットプリント（店舗やオフィス、従業員の出張など）を除いた、各年の製品の平均カーボンフットプリントです。

2023年の製品の平均カーボンフットプリントは2025年の目標に迫っていますが、改善の余地がまだまだあります。

2023
サステナビリティレポート

私たちは「ゼロ」 を目指す



私たちは「ゼロ」を目指します

目標はシンプル:

私たちの目標は地球温暖化の指標となる、カーボンフットプリントをゼロにして、気候変動を逆転させることです。ゼロを達成するために私たちは日々努力を続けています。

2021年にオールバーズは、2つの目標を発表しました。1つ目は「2025年までに製品毎のカーボンフットプリントを半減させること」、2つ目は「2030年までにほぼゼロにすること」です。

この目標は私たちの原動力になっています。素晴らしいことに、計画を上回るペースで目標に近づいています(ワクワク)

2023年には製品の平均カーボンフットプリントを前年比22%削減することに成功し、あと少しで2025年の目標達成という段階までできました。

カーボンフットプリントを削減を成し遂げても注目を浴びることはありません。

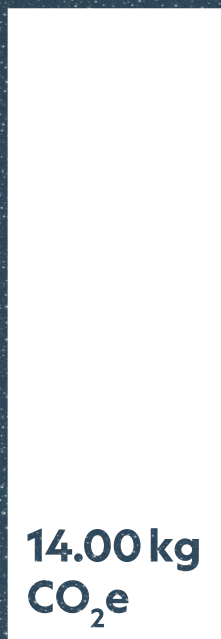
SNSで話題になったり、トップニュースに取り上げられるような華やかさに憧れる気持ちもありますが、私たちは目標達成に向けコツコツと努力する姿勢を大切にしています。

地味に見えるかもしれませんが、大切なのは派手なニュースではなく、目標を実現するための一步一步の積み重ねなのです。

このサステナビリティレポートを通して伝えたいことは、私たちの目標は「何も生み出さないこと」ですが、その「何も生み出さない」ことが、本当に大切なものを将来つくり出すための大きな一歩となるということです。

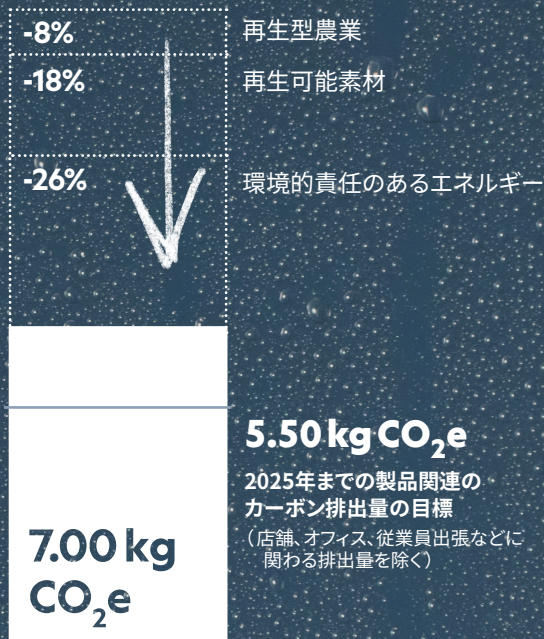
どうやって?こうやって! 2025年までに製品毎の カーボンフットプリントを半分に。

一般的な生産方法に
よる排出量



特に制約をせずに
2025年まで活動した場合

サステナビリティ戦略
に基づいた排出量



計画通りに
2025年まで活動した場合

2023
サステナビリティレポート

カーボンフット プリントの表示を 業界スタンダード にする



カーボンフットプリントの表示を 業界スタンダードにする

カーボンフットプリントってなに？安心してください。私たちはファッション業界のカーボンフットプリントの先駆者（多分！）ですので、分かりやすく説明します。（よろしければオールバーズを片手に👉）

製品には価格とは別に、環境にかかる負担が存在します。目に見えないものですが、「¥3,500」といった数字のように分かりやすく示すことはできないかと、私たちは考えました。そして2020年から各製品にカーボンフットプリントを明記することを開始し、他のブランドも参加できるよう、カーボンフットプリントの計算方法を公開しました。

例えば、日本のファッションブランド、カポックノットさんはすぐに呼びかけに応じてくれました。より多くのブランドが、この取り組みに参加すれば、それぞれの製品が環境に与える影響を把握することができ、お客様が製品購入する際の判断材料にもなります。

カーボンラベルとカーボンフットプリント計測法を発表してから約5年が経ち、現在はファッション業界に特化したカーボンフットプリントを簡単に管理できるツール、

Carbonfactと共に、レベルアップさせることに取り組んでいます。

Carbonfactを活用することによってさらに正確なデータを計測し、新しい基準や規制に対応できるようになるでしょう。

（もちろん、素晴らしいパートナーの皆さんの協力と共に）

これからは排出量の基準を変えたり、目標をアップデートしたり、カーボンフットプリント削減のプランを見直すこともあるかもしれません。これまでと同じように、新しい発見をいつでも皆さんとシェアしていきたいと思っています。



2023
サステナビリティレポート

サステナビリティ 戦略の軸 (最も重要な要素ですね)



再生型農業

CO₂を削減する農業への転換

私たちは化石燃料が地球に与える影響について懸念を抱いています。よって天然またはリサイクル素材の活用に力をいれています。その中でも、オールバーズにとって最も愛着のある素材を提供してくれているのが羊たちです。羊は環境負荷がCO₂の約28倍も高いと言われているメタンをゲップなどで排出しますが、彼らが暮らす牧草地はCO₂を吸収（隔離）する役割を果たしてくれます。

2025年までの目標

- 再生型農業によって調達されたウールを100%使用
- ウール調達によるCO₂の年間排出量を100%削減または隔離する

2023年までの経過

2023年の製品毎の全体削減量である-1.58kg CO₂eのうち、再生型農業の削減への貢献は0.00kg CO₂eでした。土壌改善は短期間で結果がでないのです。



主な成果

再生型農業によるウールをより多く使用しました。2023年にはSuperLight Wool Runnerをリリースすることができました。CO₂排出を吸収（隔離）することに成功したニュージーランドの牧羊農場、Lake Hawea Stationから調達したウールを使用した、世界初のゼロカーボンシューズとなるM0.0NSHOTプロジェクトを発表しました。

主な課題

牧羊農家によるCO₂排出量・隔離量をカーボンフットプリントの計算に含むデータ連携が必要です。サプライチェーンとソフトウェア開発会社と共に、牧羊農家がより簡単にデータアクセスできる取り組みを行っています。多くのデータを取得しながら、農地計測方法や、データ活用に関わるガイドラインに対応する必要もあります。

再生可能素材

新品のバージン石油由来の素材を減らし、天然またはリサイクル素材を代用する。

ファッション業界では、製品に使用される素材の約55%が、地球環境に負荷を与える化石燃料由来（しかも多くはバージン石油!）と言われております。

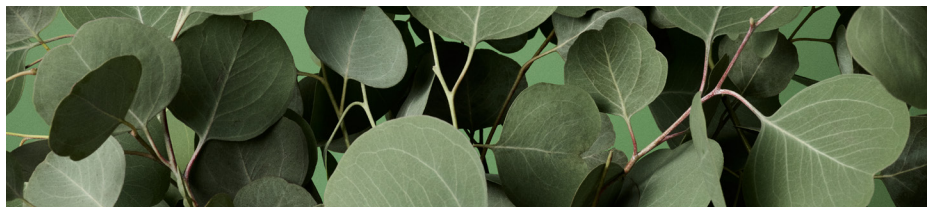
この問題を解決するには、より多くのリサイクルまたは天然素材にシフトしていかなくてもなりません。

2025年までの目標

- サステナブルな手法で調達された天然素材・リサイクル素材を75%使用する。
- 主要原料のカーボンフットプリントを25%減らす。
- フットウェア・アパレル製品の原料を25%減らす。
- フットウェア・アパレル製品寿命を2倍に延ばす。

2023年までの経過

2023年における製品毎の全体削減量である-1.58kgCO₂eのうち、再生可能素材の削減への貢献は-0.50 kg CO₂eでした。



主な成果

2023年にはフットウェアのパッケージングを一新。重量を大きく減らすことで、輸送時のCO₂排出量を減らし、環境負荷の軽減に成功しました。神は細部に宿りますからね。

主な課題

低コストでサプライチェーン全体に適用できるサステナブルな素材を見つけることです。天然素材またはリサイクル素材を中心とする製品作りにはそれなりの課題があります。素材によっては調達が困難で、入手できても扱いに慣れていない工場も多く、それによって生産プロセスに時間を要することになります。また、コストや耐久性といった問題もあります。それでも私たちはサステナブルな素材のポテンシャルを活かすことにフォーカスし、解決策を常に模索しています。

環境的責任のあるエネルギー

エネルギー消費量を減らしつつ、より環境に配慮された燃料・電力を使用

私たちのカーボンフットプリントのほとんどは素材加工やシューズの製造、輸送、洗濯などで消費されるエネルギーによるものです。よってこれらに関わるエネルギーを抑えることが大切です。

2025年までの目標

- 運用：オールバーズが「所有・運用」している施設で100%再生可能エネルギーを使用
- 製造：T1（ティア1）工場で100%再生可能エネルギーを使用
- 輸送：海上輸送の割合を95%以上で維持
- 洗濯：製品の低温洗濯と自然乾燥をお客様に促す

2023年までの経過

2023年における製品毎の全体削減量である-1.58kgCO₂eのうち、環境的責任のあるエネルギーによる削減への貢献は-0.15kgCO₂eでした。



主な成果

ほぼ全てのフットウェア製造をベトナム工場で行い、再生可能エネルギーの使用率を拡大し、主要工場ではREC（再生可能エネルギー証書）を用いた施策も導入しました。

RECに課題はあるものの、自社所有工場が無い現段階では最良の手段だと考えています。

主な課題

海上輸送の割合を維持する。2023年はインバウンド物量の96%を海上輸送で運びました。

これは2025年の目標である95%を超える良い結果です！毎年この割合を維持するのはなかなか大変ですが、カーボンフットプリントが大きい空輸（海上輸送の約30倍ともいわれる）をなるべく減らすことが重要です。大きな変化を起こすには、海に頼ることがカギ。

ありがとう、母なる海よ！

2023
サステナビリティレポート

認証の大切さ



気候ラベルに誇りを持って

ビジネスの力で気候変動を逆転させるには、2つのアプローチがあります。

まず1つ目は、自分たちのビジネスで出るCO₂をできるだけ減らすこと。このレポートでも紹介しているように、私たちは日々、製品や事業に関わるCO₂削減に取り組んでいます。

でも、一社だけではできることには限りがあります。だから、他の人たちと一緒に

協力することが必要です。

私たちだけでなく、みんなが気候変動に責任を持つべきだと思っています。

そのため、2つ目のアプローチとして、自分たち以外が出すCO₂を減らすことに取り組んでいます。カーボンフットプリント削減目標を設定するだけでなく、排出量を取り除いたり、閉じ込めたりするために、優秀なカーボンプロジェクトを活用していくことも大切だと考えています。

パートナーである「The Change Climate Project」と共に、オールバーズは気候変動プロジェクトを進めるグループに加わり、新しい認証基準のベータテストに参加しました。

この新しいフレームワークでは、企業が社内でカーボンコストを設定し、自社の事業やサプライチェーンでの排出量を減らすプロジェクトに投資することが求められます。また、世界中で展開される効果的なカーボン除去や削減プロジェクトをサポートすることも必要です。

オールバーズ本社はこの新しい基準を満たした最初の企業の1つとして認められ、気候変動対策への支援増加とCO₂排出量の急務な削減を目的とする「The Climate Label」の認証を受けました。

オールバーズにとって、継続的なカーボン削減・除去プロジェクトの認証基準が設立されたことは、とても喜ばしいことです。



2023年に支援したプロジェクト



アルゼンチン再生型農業 ウールプロジェクト

羊の放牧を戦略的にしながら豊かな牧草を育て、より多くのCO₂を隔離するための再生型農業法を進める「アルゼンチン再生型農業ウールプロジェクト」を2023年も支援しました。2021年に投資を開始して以来、プロジェクトの農地面積は10,000ヘクタールから200,000ヘクタールまで拡大し、2030年までに1,000,000ヘクタールに拡大する目標を掲げています。

**私たちの理念は常に進化し、
気候変動の解決に向けた新しいビジネスチャンス
を常に探しています。**



渡部暁斗選手との 取り組み

ノルディックスキー複合の渡部暁斗選手が、移動や宿泊などで排出する年間約50トンのカーボンフットプリントを、北海道での植林活動を通じてカーボンオフセットしました。また、ジュニア選手への環境教育サポートも合わせて行いました。

自然環境と密接に結びつくウィンタースポーツのトップアスリートであり、オールバーズのアンバサダーでもある渡部選手と、一緒に気候変動へ立ち向かっていくことを誇りに思います。



エンブラ・アマゾニア・ プロジェクト

危機に晒されているブラジルの熱帯雨林を守る「エンブラ・アマゾニア・プロジェクト」を継続的に支援しています。アマゾンには200万以上もの動物種の生息地であるだけでなくカーボンサイクルのバランスを保つ上でも重要な役割を果たしています。

このプロジェクトの目的は、絶滅危機にある約20万ヘクタールのブラジルの熱帯雨林を保全することです。オールバーズはエンブラ・アマゾニア・プロジェクトと提携し、コミュニティへの資金投資を通じて支援しています。ブラジルの熱帯雨林は200万種以上の動物の生息地であり、生物多様性の観点のみならず、CO₂の吸収源として重要な役割を担っています。

「B」を常に意識する

カーボンフットプリント削減は大事なミッション。

しかし、それだけじゃ物足りません。

ビジネス全体をもっと良くしていくために、いろんな面で成長のチャンスを見つけ続けることが大切だと考えています。

Certified



Corporation

それを実現するための手段の一つが「B Corp」認証を保ち続けることです。

「B Corp」認証は、企業が人や社会、そして地球にポジティブな影響を与えるための指針となるもので、最も知名度が高く、広く評価されている厳格な認証制度のひとつです。

この「B」の認証マークは、世間に有意義な還元ができていることを示しています。

「B Corp」の再認証を受ける際にガバナンス、従業員、コミュニティ、環境、そしてお客様の5つのカテゴリーについて300の質問に答えました。質問は多岐にわたり、社内外のチームが一致団結しないと答えられない質問ばかりです。

世界では約9000社が認証を受けていますが、日本では約50社しか取得できていません。まだまだ認知度が低く、ハードルが高い現状もあるのですが、日本でも毎月のようにB Corpの仲間がどんどん増えています！

がんばれニッポン！

オールバーズ本社は2023年も再認証に合格しました。みんなが力を合わせれば大きなことも成し遂げられます。やった～！

2023年に3度目の「B Corp」認証を受け、初めての認証から18%アップを示す96.5の総合スコアを獲得しました。



私たちは常に向上することを目指しており、
「B Corp」認証はそれを手助けしてくれるシステムだと認識しています。

私たちは2019年に、T1サプライヤーにおける公正な労働・環境に配慮したプログラムをさらに拡大できると判断し、それらの分野を強化するためのワークストリームを導入しました。その結果が2023年のスコアに反映されました。次は水・廃棄物管理に関する新しい目標設定を見据え、サプライヤーに対してさらなる改善が実現できるようサポートを行っています。各方面とのパートナーシップを展開することが、最も重要なことだと考えています。

「B Corp」認証に加え、サステナビリティ戦略の重要な焦点として5つのフォーカスポイントを作りました：公正な労働、水、化学物質、動物福祉、そしてトレーサビリティ・透明性です。私たちの責任のある取り組みについての詳細については allbirds.com/pages/how-we-operate を参照ください。

さあ、自然と一緒に。

今履いているシューズ、何から作られていますか？
たいていのシューズは、真っ黒な石油から作られています。

Allbirdsの夢は、自然と共存すること。
だから私たちは1足のシューズを作るために、
自然のことを学び、寄り添い、
できる限り天然素材を使っています。

サトウキビ由来のソール、
ユーカリの繊維のニット素材、
ひまし油のインソール。
自然との共存の第一歩は、素材にこだわること。

これまでも、これからも。
さあ、自然と一緒に。

allbirds

BY NATURE